

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-065	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol Use during COVID-19 Pandemic: A Cross-Sectional Survey among Healthcare and Office Workers in Italy COVID-19 パンデミック時の飲酒：イタリアの医療従事者と会社員を対象にした横断的調査		
<b>執筆者</b>		
Cedrone F, Buomprisco G, Nicola M, La Torre G, Nieto H, Perri R, Montagna V, Greco E, De Sio S.		
<b>掲載誌</b>		
Int J Environ Res Public Health. 2022 Oct 2;19(19):12587. doi: 10.3390/ijerph191912587.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒、COVID-19、有害な飲酒、ロックダウン、労働者		36231887
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的:</b> イタリアの医療従事者と会社員を対象に COVID-19 パンデミック時の飲酒パターンを確認することを目的とした。</p> <p><b>方法:</b> COVID-19 第一波ならびにその後のロックダウン期間の 2020 年 3 月-5 月に Google Forms を用いたオンラインによる匿名の横断的調査を実施した。医療従事者 (HCWs) および会社員 (OWs) を対象とし、飲酒は検証された質問表 (AUDIT-C) を用いて評価した。AUDIT-C スコア 0-12 点 (0 点は飲酒なし) のうち男性 4 点以上、女性 3 点以上は有害な飲酒、男性 4 点未満、女性で 3 点未満は低リスクの飲酒とした。多変量ロジスティック回帰モデルを用いて、性別、年齢、暮らし、働き方、生活様式といった因子による有害な飲酒のオッズ比 (OR) および 95%信頼区間 (CI) を算出した。</p> <p><b>結果:</b> Google Forms を送信した 2,222 人中 1,745 人 (HCWs 群 1,170 人、OWs 群 575 人) が回答した。全対象者 (OR: 0.42, 95%CI: 0.33-0.53)、HCWs (OR: 0.62, 95%CI: 0.46-0.84) および OWs (OR: 0.17, 95%CI: 0.11-0.27) いずれにおいても男性で有害な飲酒行動のリスクは低かった。また、HCWs よりも OWs の方が有害な飲酒のリスクが高かった (OR: 1.62, 95%CI: 1.20-2.18)。</p> <p><b>結論:</b> 本結果は COVID-19 パンデミック中に不健康な行動が増加したことを示している。特に、会社員に対する有害飲酒の防止が必要と考えられる。</p>		